

## 目標達成計画

作成日: 令和 元年 9月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着型サービス事業所として、地域の皆様との交流を今まで以上に深める。	職員や利用者様も地域の一員として、行事に参加する。施設内の行事などに地域の皆様に参加してもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設前に掲示板を作り、施設内での取り組みや行事を案内。</li> <li>運営推進会議等を利用し交流の場所を作り、地域の取り組みなどの情報収集をする。</li> </ul>	12ヶ月
2	4	ヒヤリハット報告書の増加。	職員、ひとり一人が事故予防として、意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハット報告書を簡素化し、気付いた時に簡単に記入出来るように工夫する。</li> <li>職員同士が連携をとり、お互いの行動や気付きを注意し合う。</li> </ul>	1ヶ月
3	33	看取りケアの質向上	個々の職員が知識の向上を図り、利用者様、ご家族様の希望や想いに寄り添い看取りケアを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取りケアの記録を振り返り、個々に合わせたケアの質向上に努め、職員の意識を高める。</li> <li>家族様との信頼関係を築く為、エンディングノートを使い家族様との連携、報告、相談をし確認する。</li> <li>主治医、看護師と連携し看取りケアを共有する。</li> </ul>	12ヶ月
4	35	年2回、消防、避難訓練の地域の方々の参加。備蓄食料品の保管。	地域の方々からの避難訓練の協力があり事業所への理解が深まる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の案内を近隣に配布し、協力を依頼する。</li> <li>地域の方々と日常的に挨拶を交わすなど馴染みの関係の構築を図る。</li> <li>備蓄食料品と通常食料品の保管場所を分けて保管する。</li> </ul>	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。